

第5章 新潟市の水産業

1 概要

本市は、日本海沿岸のほぼ中心に位置し、海岸線延長は58.6km、底質は砂泥で単調な遠浅の漁場となっている。沖合には佐渡が島・粟島の2島とこれに連なる岩礁及び瀬・礁が多数点在し、暖・寒流系の回遊魚類及び定着性魚介類の好漁場が形成され、各種の漁業が営まれている。また、水揚げされる主な水産物としては、サバ・アジ・ホッケ・ニギス・イワシ・ハタハタ・スケトウダラ・ブリ・カレイ類・ヒラメ・スルメイカ・カニ類・エビ類等がある。

内水面漁業は、信濃川・阿賀野川・鳥屋野潟・佐潟・福島潟で営まれ、サケ・マス・コイ・フナ・ヤツメウナギ・シジミ等が漁獲され、種苗の放流等も行われている。

水産物の流通については、中央卸売市場（消費地）1ヶ所、地方卸売市場（産地）1ヶ所の2卸売市場が存在し、本県の中核的拠点卸売市場として広域的に水産物を供給する重要な役割を果たしている。

2 海面漁業

沿岸漁業は、新川・松浜・巻の第一種漁港、特定重要港湾である新潟港西港区の漁港区及び天然海浜を基地として、板びき網・さし網・吾智網・船びき網・小型定置網漁業・採貝漁業等が営まれている。

沖合漁業は、新潟港西港区の漁港区を基地として、機船底びき網・いか釣・まき網・流し網漁業等が営まれ、市民になじみ深い新鮮な水産物を供給している。

今後の本市水産業の発展には、生活基盤となる漁港整備、漁場造成並びに資源管理型漁業の推進等が重要である。

(1) 地方（産地）市場に直接水揚される地場物の取扱高

年次	数量 (t)	前年対比 (%)	金額 (千円)	前年対比 (%)
24	5,099	79.4	1,436,554	74.1
25	9,866	193.5	1,813,755	126.3
26	7,480	75.8	1,795,873	99.0
27	6,344	84.8	1,745,027	97.2
28	9,483	149.5	2,099,593	120.3

(新潟漁協水揚高より算出)

(2) 海面（沿岸）漁業の現況

漁獲実績

数量		年次		
		26	27	28
漁獲量 (t)		680.4	678.4	686.8
金額 (千円)		393,556	397,471	408,391
うち 地場 売	数量(t)	91.5	65.6	39.4
	金額(千円)	55,375	39,987	19,021
	割合(%)	14.1	10.1	4.7

漁船隻数

()内は沿岸漁業

総数	1t 未満	1t 以上～ 3t 未満	3t 以上～ 5t 未満	5t 以上～ 10t 未満	10t 以上～ 50t 未満	50t 以上	無 動 力
(461)	(144)	(229)	(50)	(19)	(19)	(0)	(0)
465	144	229	50	19	21	2	0

主な漁業

- ・底びき網漁業
- ・さし網漁業
- ・釣（ひき釣）漁業
- ・はえ縄漁業
- ・定置網漁業
- ・かに籠漁業
- ・採貝漁業
- ・たこ箱漁業

- ・船びき網漁業
- ・地びき網漁業

- ・カレイ
- ・ヒラメ
- ・イワシ
- ・タイ
- ・イナダ
- ・マス
- ・アジ
- ・サバ

主な水産物

- ・イカ
- ・タコ
- ・コダマ貝
- ・ワタリガニ
- ・マルガニ
- ・クルマエビ
- ・赤ヒゲ

(3) つくり育てる漁業

ヒラメの中間育成放流

(単位：千円)

年度	事業主体	事業内容	事業費
26	新潟市	ヒラメ (50mm) 1万7千尾 (中間育成放流)	900
27	〃	ヒラメ (50mm) 1万7千尾 (中間育成放流)	900
28	〃	ヒラメ (50mm) 9千4百尾 (中間育成放流)	500

3 内水面漁業

内水面漁業は、信濃川・阿賀野川の2大河川延長22km及び3湖沼(鳥屋野潟・佐潟・福島潟)約220haが主要漁場となっており、サケの種苗生産をはじめ、サクラマス・フナ・シジミ等の種苗を放流するなど漁業者自ら意欲的に取り組んでおり、加えて水質等の浄化も進む傾向にあつて内水面漁業の一層の発展が期待されている。

(1) 内水面漁業の現況

漁獲実績

数量		年次		
		26	27	28
漁獲量 (t)		145.3	166.6	141.2
金額 (千円)		85,980	101,646	104,970
うち 地場 売	数量(t)	66.1	66.0	63.3
	金額(千円)	42,124	43,629	45,651
	割合(%)	49.0	42.9	43.5

漁船隻数

総 数	1t 未満	1t 以上～3t 未満	3t 以上	無 動 力
316	169	125	9	13

主な漁業		主な水産物	
・流し網漁業	・サケ	・ウナギ	
・刺し網漁業	・サクラマス	・ヤツメウナギ	
・袋網漁業	・コイ	・カワガニ	
・地曳網漁業	・フナ	・シジミ	

(2) つくり育てる漁業

ア サケの採捕・採卵と稚魚の放流

	平成 27 年度			平成 28 年度		
	採捕尾数 (尾)	採卵数 (千粒)	放流尾数 (千尾)	採捕尾数 (尾)	採卵数 (千粒)	放流尾数 (千尾)
信濃川漁業協同組合	4,041	2,007	1,546	3,176	1,805	1,529
松浜内水面漁業協同組合	14,155	2,368	1,828	9,164	2,339	1,473
濁川漁業協同組合	3,567			1,944		
新潟市大形地区漁業協同組合	1,055			867		
計	22,818	4,375	3,374	15,151	4,144	3,002

イ 湖沼・河川の稚魚放流実績

(単位：Kg・円，但し，サクラマスは単位：尾・円)

年度	区分	鳥屋野潟		佐潟		信濃川		阿賀野川		福島潟	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
平成 26 年 度	サクラマス					40,270	434,916	55,400	598,320		
	フナ	190	165,300	144	122,400	440	374,000			339	288,150
	ウナギ			10	77,760						
	シジミ							2,042	1,874,556		
	計		165,300		200,160		808,916		2,472,876		288,150
平成 27 年 度	サクラマス					40,520	437,616	56,020	605,016		
	フナ	194	164,900	110	93,500	440	374,000			338	287,300
	ウナギ			13.8	105,818						
	シジミ							1,880	1,725,840		
	計		164,900		199,318		811,616		2,330,856		287,300
平成 28 年 度	サクラマス					27,620	298,296	49,370	533,196		
	フナ	187	162,690	110	95,700	440	382,800			320	278,400
	ウナギ			13	91,260						
	シジミ							1,720	1,578,960		
	計		162,690		186,960		681,096		2,112,156		278,400

4 水産施設

(1) 漁港整備の状況

ア H28 松浜漁港整備内容

(単位：千円)

事業名	事業内容		事業費
水産物供給基盤 機能保全事業	3-3 岸壁長寿命化実施設計業務 防砂堤保全工事	一式 実施中(繰越)	14,115

(平成 28 年度決算見込み)

イ H28 新川漁港整備内容

(単位：千円)

事業名	事業内容		事業費
新川漁港機能強化事業	航路 7-1 浚渫工事 北防砂堤改良工事 水域施設浚渫工事	V=17,052m ³ 実施中(繰越) 実施中(繰越)	309,521
水産物供給基盤 機能保全事業	東護岸・物揚場保全工事 西防波堤長寿命化実施設計業務 水域施設機能保全計画策定業務 東第 1 防波堤保全工事 物揚場新設工事	L=103.7m 一式 一式 実施中(繰越) 実施中(繰越)	108,831

(平成 28 年度決算見込み)

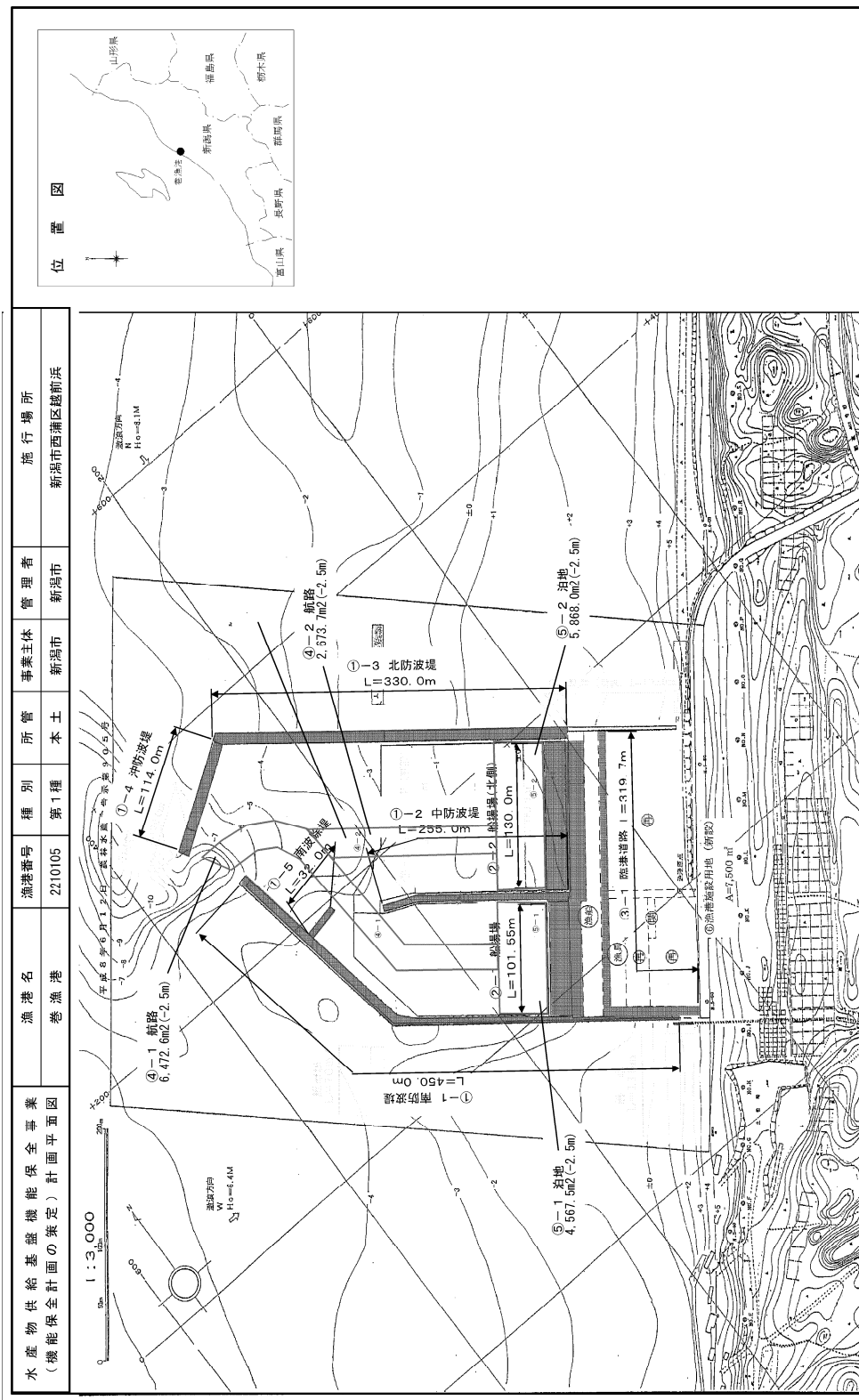
ウ H28 巻漁港整備内容

(単位：千円)

事業名	事業内容		事業費
水産物供給基盤 機能保全事業	水域施設機能保全計画策定業務	一式	6,417

(平成 28 年度決算見込み)

ウ 卷漁港図

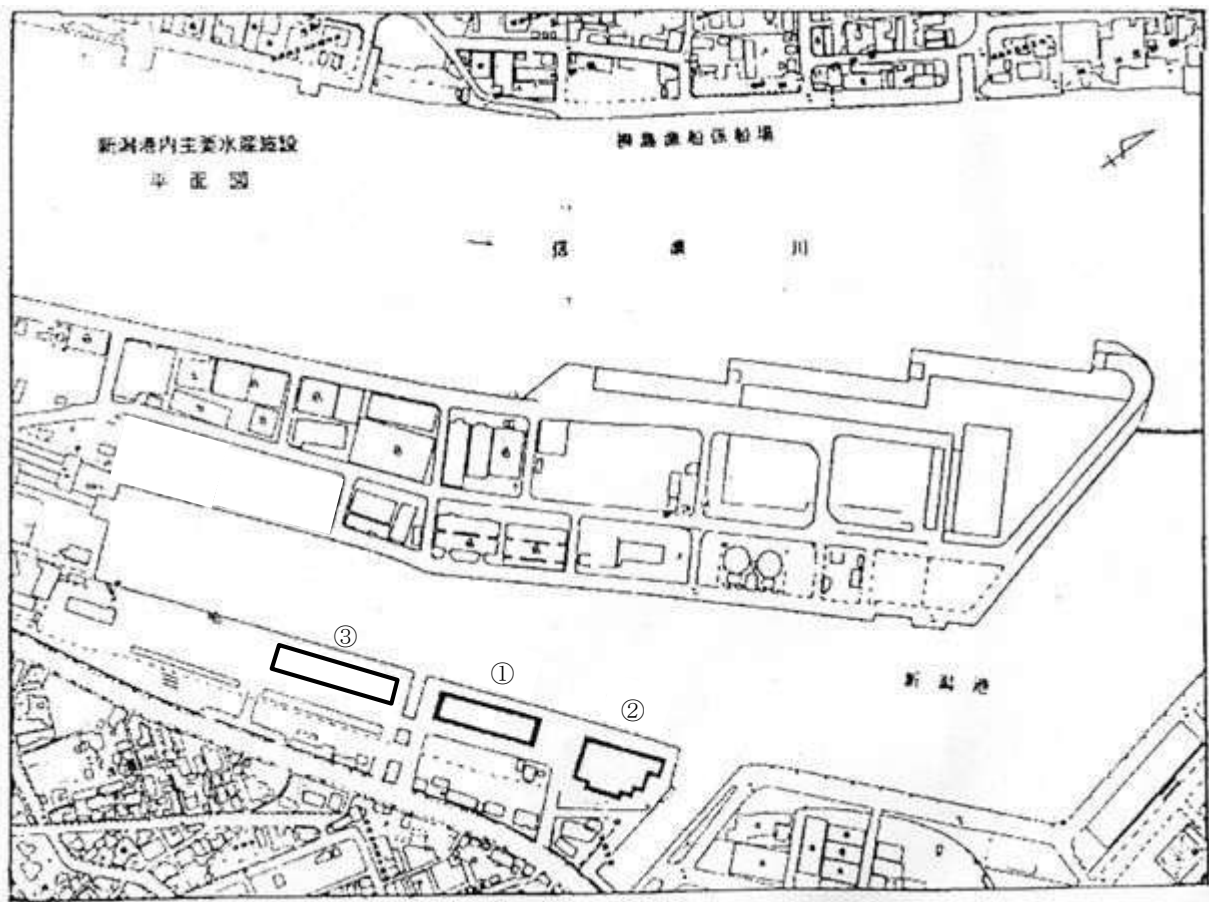


(3) 新潟港内主要水産施設

ア 新潟港内主要水産施設概要

位置	図面 番号	所有者	用途	規模	建設年月
東 港 線	①	新潟漁業協同組合	水産物荷捌施設	2,304 m ²	昭和 49.12
	②	新潟漁業協同組合	冷蔵庫及び貯氷庫	製氷能力 80t/日 貯氷能力 3,000t	昭和 58.3 平成 6.3
	③	新潟漁業協同組合	水産物荷捌施設及び事務所	4,703 m ²	平成 22.9

イ 新潟港内主要水産施設平面図



6 水産物流通図

